

奈良県債 I R 資料

Nara Prefecture 2015 Investor Relations

平城京天平祭秋2014



第32回国民文化祭・なら2017
2017.9.1～11.30開催



奈良県マスコットキャラクター

せんとくん

©NARA pref.

市場公募地方債発行団体合同 I R 説明会資料（平成27年10月19日）

目次

I 奈良県の特徴

- | | |
|---------------------|-------|
| ① 奈良県における地方創生の取組 | P2 |
| ② 広がる交通ネットワーク | P3 |
| ③ 近接する巨大市場と県民の高い購買力 | P4 |
| ④ 経済が県内で好循環する社会の構築 | P5-6 |
| ⑤ 文化資源を活用した観光振興 | P7-11 |

II 行財政改革の取組

- | | |
|-------------------------|-----|
| ① 奈良県行政経営マネジメントプログラムの概要 | P13 |
| ② 直近の取組状況 | P14 |

III 平成27年度 一般会計予算

- | | |
|-----------------|-----|
| ① 平成27年度当初予算の概要 | P16 |
| ② 復旧・復興から地域振興へ | P17 |

IV 奈良県の財政状況

- | | |
|-----------------------|-----|
| ① 決算額の概況 | P19 |
| ② 県税の推移 | P20 |
| ③ 義務的経費の推移 | P21 |
| ④ 普通建設事業費の推移 | P22 |
| ⑤ 県債残高の推移 | P23 |
| ⑥ 基金残高の推移 | P24 |
| ⑦ 財政健全化判断指標の状況 | P25 |
| ⑧ 財政健全化判断指標の全国的なポジション | P26 |
| ⑨ 公営企業の決算状況 | P27 |
| ⑩ 公社・独立行政法人の決算状況 | P28 |

V 奈良県の起債運営

- | | |
|--------------|-----|
| ① 格付けの取得 | P30 |
| ② 市場公募債の発行概要 | P31 |

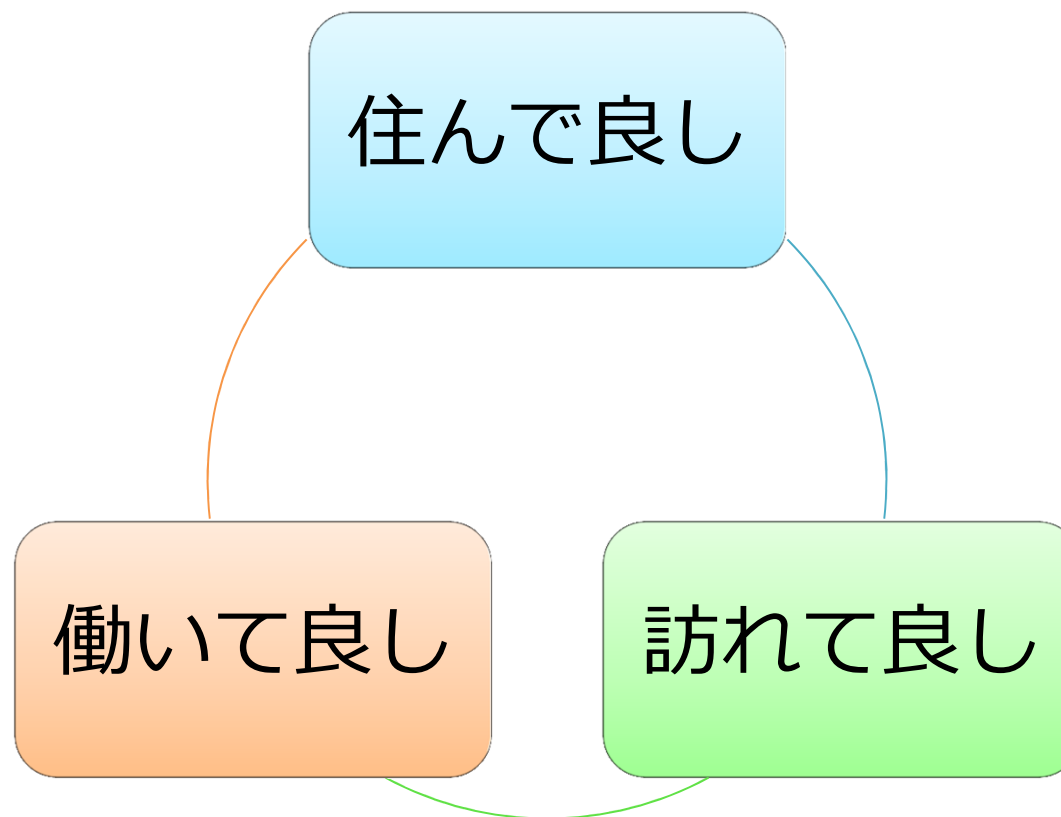
さいごに	P32
------	-----



- I 奈良県の特徴
- II 行財政改革の取組
- III 平成27年度 一般会計予算
- IV 奈良県の財政状況
- V 奈良県の起債運営



- ・ 全ての県民が健やかで安心してくらせるまちづくりを進めます。



- ・ 脱ベッドタウンを図り、仕事の場を奈良でつくるため、「産業興し」「企業誘致」などに取り組みます。

- ・ 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、観光・文化・スポーツの振興などに取り組み、誇り高い奈良を売り出します。

広がる高速道路ネットワーク

- 一般国道24号京奈和自動車道 大和御所道路において、下記区間が供用予定

平成28年度 御所南～五條北 I C間

これにより、奈良県から周辺府県への
高速道路ネットワークが強化



充実する鉄道ネットワーク

- 奈良から各地への所要時間は・・・

- ・ 大阪中心部まで 約40分
- ・ 神戸三宮まで 約1時間20分
- ・ 東京まで 約3時間
- ・ 福岡まで 約3時間10分
- ・ 関西国際空港まで 約1時間20分

- リニア中央新幹線

平成23年5月に国の整備計画において、
主要な経過地として「奈良市附近」と決定

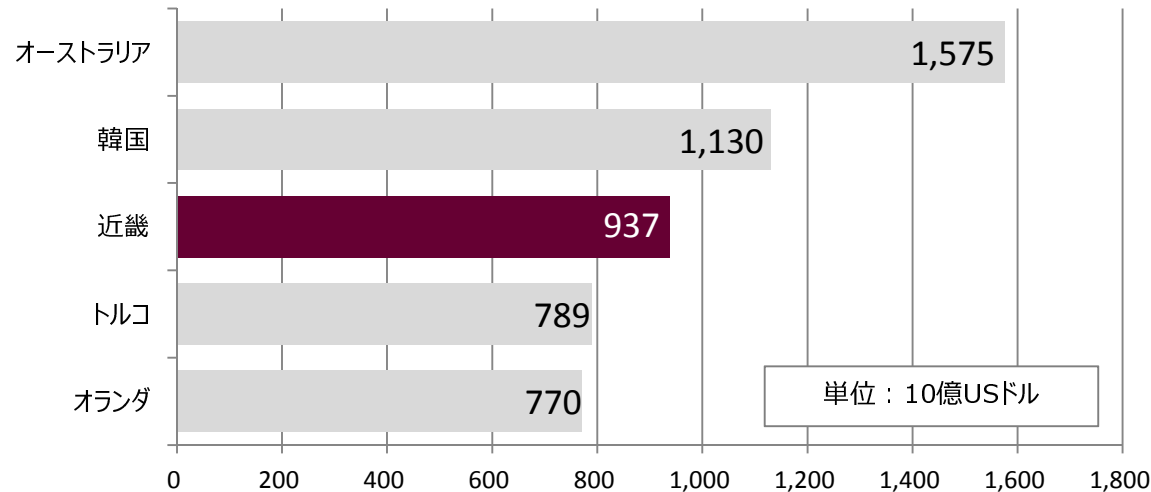


I 奈良県の特徴

③ 近接する巨大市場と県民の高い購買力

韓国（世界15位）にせまる近畿の巨大な経済規模

主要国の名目GDPとの比較（2012）



項目	近畿 2 府 4 県		奈良県	
人口（H22）	2,090万人	16.3%	140万人	1.0%
面積（H26）	27,351km ²	7.2%	3,691km ²	1.0%
県内総生産（H24）	77.8兆円	15.6%	3.5兆円	0.7%

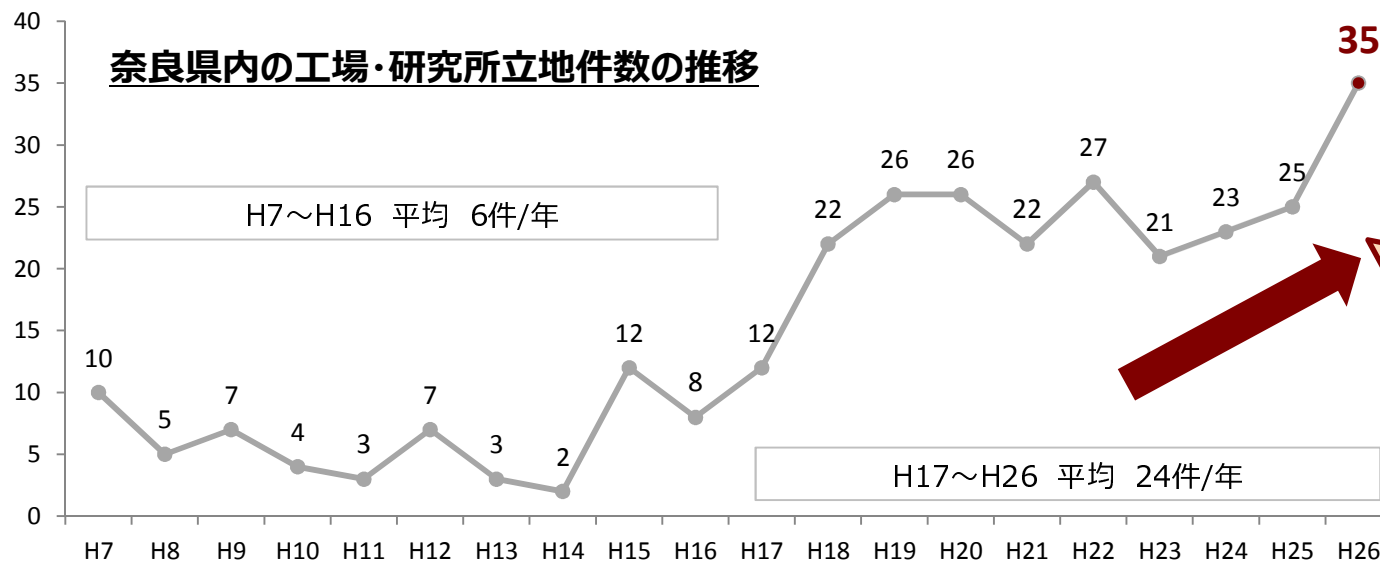
※ 左表の割合は、全国に占める率を示す

【指標でみる県民の経済活動】

● 世帯主の勤め先収入〔勤労者世帯 1 ヶ月平均〕	491千円	(H26)	全国第 3 位
● 1 世帯あたり貯蓄現在高	17,411千円	(H21)	全国第 3 位
● 1 ヶ月平均消費支出〔2 人以上の世帯〕	328千円	(H21)	全国第 3 位
● パソコン普及率〔2 人以上の世帯〕	84.0%	(H21)	全国第 1 位
● ピアノ普及率〔2 人以上の世帯〕	34.5%	(H21)	全国第 1 位

企業（工場・研究所）の立地推進による産業振興

- 県による積極的な誘致活動や支援制度の充実により、平成18年度以降、**工場・研究所の立地件数が飛躍的に増加（過去10年平均比 約4倍増）**これにより、**地域経済を活性化し、雇用の創出へ。**



近年の主な誘致企業

三甲（株）
 （株）バーレープラス
 朝日ウッドテック（株）
 日本梱包運輸倉庫（株）
 ヒラノ光音（株）
 大阪デリカフーズ（株）

- さらに、**奈良県への本社移転**については、**10年連続転入超過**
→ 全国 6 位（10年間の計：152社転入超過）

近年の本社機能転入事例

上六印刷（株）
 積水ホームテクノ（株）

奈良県の魅力的な立地環境

災害が少ない安全・安心な環境

⇒ **自然災害による死者ゼロの年の回数 全国 2 位（33回）**

（出典：消防白書より 昭和45年～平成24年までの全43回）

研究開発や高度なものづくりに応える**優秀な人材が豊富** ⇒ **大学・短大進学率 全国 8 位（57.5%）**

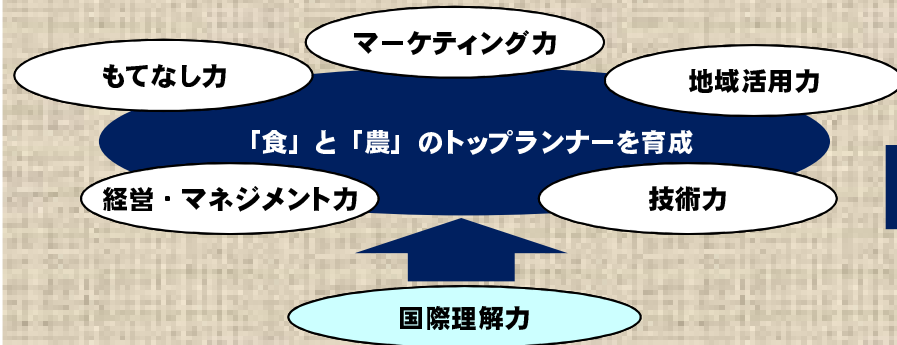




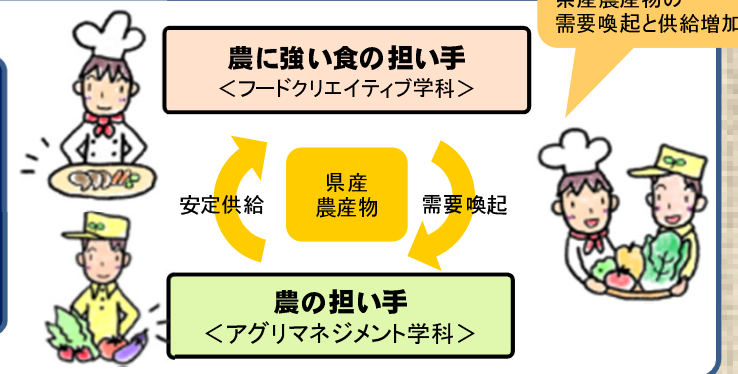
なら食と農の魅力創造国際大学校（NAFIC）に6次産業化研修拠点を整備

フードクリエイティブ学科を創設し、農業・農作物に関する知識を持った「食の担い手（シェフ）」を育成。

なら食と農の魅力創造国際大学校の人材育成コンセプト



将来の姿



フードクリエイティブ学科の概要

- 開校時期：平成28年4月
- 設置場所：桜井市高家（安倍地区）
- 在学期間：2カ年
- 定員：20人／1学年
- 特徴：

学校の敷地内に一般客がゆったりと美味しい料理を楽しめるオーベルジュ（宿泊施設を備えたレストラン）を設置し、授業の一環として、レストランの厨房での調理やフロアでの接客サービスなどの実践研修を実施。



▲ オーベルジュ・ド・ぶれざんす 桜井 メインダイニング



▼ 全体鳥瞰（イメージ）

※ 実践オーベルジュ棟「オーベルジュ・ド・ぶれざんす 桜井」
（指定管理者：（株）ひらまつ）は、平成27年9月5日（土）に先行オープン

奈良県の文化財

○ 3つの世界遺産

- ・ 法隆寺地域の仏教建造物（生駒郡斑鳩町）
- ・ 古都奈良の文化財（奈良市）
- ・ 紀伊山地の霊場と参詣道（三重県・奈良県・和歌山県）

○ 国指定文化財

- ・ 国宝（彫刻）
- ・ 国宝（建造物）
- ・ 特別史跡

70件
64件
10件

左記件数は、
いずれも
全国1位

世界に誇れる「奈良公園」を目指して

○ 奈良公園の利活用

・ 奈良公園のゲートウェイの整備

交通ターミナル、観光情報機能、おもてなし機能を備えた施設を奈良公園の入口である登大路に整備

・ 飛火野周辺地区（鹿苑）の整備

奈良公園を特徴づける天然記念物「奈良のシカ」の保護・育成を図る「鹿苑」を鹿の保護・体験学習施設としてリニューアル

・ 奈良観光キャンペーンの展開

平成27年1月から実施されている春日大社式年造替を契機としたキャンペーンを展開中

▼ 鹿苑 施設イメージ



○ 奈良公園の維持

・ 国の天然記念物「奈良のシカ」保護管理の推進

・ 国の特別天然記念物「春日山原始林」保全の推進

・ 奈良公園植栽の推進

トピックス “奈良県冬季誘客イベント「大立山まつり」”の開催

- ・ 冬季の宿泊観光客の増加を図るため、「大立山まつり」を核として、県内の行事を集結させ、大規模なイベントを新たに展開。
- ・ メインイベントである「大立山まつり」は、来年1月29日から2月2日まで、平城宮跡で開催予定。

スポーツ・文化の振興と連動した観光振興の取組



奈良マラソン2015

12月12日・13日に、開催予定

- ・今年で6年目を迎え、フルマラソン・ジョギング（10km・3km）の3種目を実施する大会
- ・世界遺産「古都奈良の文化財」を含む歴史的景観の中を、約17,500人が疾走し、海外からも多数参加
- ・主会場では、奈良の物産・飲食、スポーツ用品等のブースが並ぶEXPOを同時開催（昨年来場者：約90,000人）



ムジークフェストなら2015

6月13日～28日にわたり、開催

- ・梅雨の古都・奈良を彩るクラシックを中心とした音楽祭
- ・世界遺産の社寺をはじめ、1300年の歴史をもつ奈良の街じゅうをステージに、県内約110会場で、約300公演を開催
- ・昨年度の来場者をはるかに上回る約107,000人が来場
- ・「ムジークフェストなら2016」は、来年6月11日～26日に開催を予定



奈良県大芸術祭

9月1日～11月30日にわたり、開催中

- ・44年間続く「奈良県芸術祭」を昨年度よりスケールアップ
- ・奈良県や文化芸術団体等が主催する「音楽」「演劇」「芸能」など642のイベントを県内各地で開催（昨年度は、97万人が参加）
- ・2016年は、9月1日～11月30日に開催を予定
- ・2017年には、奈良県大芸術祭を基軸にし、国民文化祭を開催

国際会議・コンベンションの誘致等による地域経済の向上

本県では『奈良県国際会議・国内会議誘致推進本部』を立ち上げ、国際会議及び国内会議の誘致活動を積極的かつ戦略的に推進。また、受入環境の整備にも官民連携して取り組んでいくことにより、国際会議及び国内会議の開催を実現。

これまでの誘致等の実績・予定

- ・ 平成24年12月 国際世界観光機関（UNWTO）アジア太平洋センターを誘致
- ・ 平成25年 9月 第1回日韓地方観光サミット
- ・ 平成25年11月 第17回APEC人材養成国際フォーラム
- ・ 平成26年11月 奈良観光統計ウィーク
- ・ 平成26年11月 インタープリメント2014（国際防災学会）
- ・ 平成27年 5月 第5回日アセアン特許庁長官会合
- ・ 平成28年 2月予定 国際世界観光機関（UNWTO）文化・観光会議

▼ インタープリメント2014（国際防災学会）



受入環境の整備

- ・ 奈良県新公会堂を、隣接するシルクロード交流館と一体化・機能強化し、多様化する国際コンベンションに対応できる施設「奈良春日野国際フォーラム 麓 ～I・R A・K A～」としてリニューアルオープン
- ・ 古都奈良の文化遺産に囲まれた奈良公園に位置し、能の発祥地である奈良で、本格的な能舞台を持つ国際コンベンション施設



進む海外との交流と積極的な海外プロモーションの実施

海外との交流（平成27年度の取組）

- ・ 友好提携先の中国陝西省・韓国忠清南道への青年派遣
中国陝西省 9月9日～13日 6人派遣
韓国忠清南道 9月9日～13日 6人派遣
- ・ スイス・ベルン州との友好提携の締結（4月17日）
- ・ 第6回東アジア地方政府会合の開催（10月25日～27日）
7カ国66地方政府が加入（平成27年9月1日現在）

積極的な海外プロモーション

- ・ ジェトロ対日投資セミナー（中国・北京市）での
トップセールス
- ・ 外国人富裕層市場の開拓
（富裕層向け旅行商品座談会への出展など）
- ・ ビジット・ジャパン事業を活用した海外プロモーションの実施
- ・ 海外観光プロモーターを現地に配置し、切れ目のない
セールスの実施
設置市場：中国・台湾・シンガポール・フランス

▼ スイス・ベルン州との友好提携協定書署名式



▼ ジェトロ対日投資セミナー（中国・北京市）



奈良で宿泊する外国人訪問客の周遊型観光を推進

奈良県への外国人訪問客数の大幅増 H26年：663,500人（前年比 45.4%増↑）

外国人交流館「奈良県猿沢イン」の整備

- ・外国人観光客向けの観光案内・交流・宿泊機能等を備えた拠点施設として、外国人交流館「奈良県猿沢イン」を整備し、奈良県を訪れる外国人観光客の県内周遊をサポート
- ・平成27年7月23日に一部オープン
平成28年秋以降に、宿泊施設がオープン予定

▼ 奈良県猿沢インでの交流のようす



外国人訪問客へのおもてなし（環境整備）

○ 多言語コールセンターの設置

県内の各種観光施設で、24時間無料電話通訳サービスを導入（英・中・韓・仏・ポルトガル・スペイン語）

※ 仏語は、12:00～18:00

○ Free Wi-Fi の整備

平城宮跡やJR・近鉄奈良駅から奈良公園周辺に無料Wi-Fi環境を整備

国際ブランドホテルの立地

- ・世界で運営を展開し、国際的な送客システムを有する
国際ブランドホテルを核とした、賑わいと交流を創出する
新たな拠点（コンベンション施設、多目的広場等）を、
2020年（東京オリンピック開催年）オープンを目指し、官民一体で整備。

▼ ホテルパースイメージ



- I 奈良県の特徴
- II 行財政改革の取組
- III 平成27年度 一般会計予算
- IV 奈良県の財政状況
- V 奈良県の起債運営

Ⅱ 行財政改革の取組

① 奈良県行政経営マネジメントプログラムの概要

○基本方針

「地域の自立を図り、くらしやすい奈良を創る」政策の実現のため、あらゆる経営資源を活用するとともに、マネジメントの考え方を全面的に展開

「マネジメント」の全面的な展開

エリアマネジメント

- ① 市町村との連携・協働
・「奈良モデル」の実現

- | | |
|-----|---|
| 方向性 | (1) 市町村間の連携による効率化(水平補完)
(2) 小規模市町村への支援(垂直補完)
(3) 県から市町村への権限移譲 |
|-----|---|

市町村税の徴収支援、道路施設の維持補修の推進
国民健康保険の広域化、市町村情報システムの共同化 等
・市町村消防の広域化の推進 【26年4月設立～】
② 地域における多様な主体との連携・協働
・「奈良県協働推進指針」に沿った協働の推進

人材・組織マネジメント

- ① 人材の確保と育成
・各種研修の実施（統計リテラシー・接遇力の向上）
・市町村の人材育成支援
- ② 組織の整備
・出先機関の統合・再編
保健所等【27年1月～】
・地方独立行政法人への移行
県立大学【27年4月～】
・第三セクター等の改革の推進

財政マネジメント

- ① 歳入の確保
・税外未収金・県税収入未済額の削減
・地方消費税の清算基準の見直しなど、地方税財政制度の提案
- ② 歳出の見直し
・県債発行額の抑制 ・公会計の整備と公表

○計画期間

平成26年4月～平成29年3月（3カ年）

※ 取組項目の進捗状況を毎年度、各分野の有識者等を交え、検証し、公表するとともに、必要に応じ取組項目の追加等、改訂

ファシリティマネジメント

庁舎、学校、福祉施設、県営住宅などの建物資産や土地

- | | |
|------|---|
| 基本方針 | (1) 保有総量最適化
(2) 県有資産の有効活用
(3) 長寿命化の推進 |
|------|---|

- ・県有建築物の耐震改修の推進 【27年度 耐震化率90%目標】
- ・PFI手法による施設整備（まほろば健康パーク【26年7月開園】）
- ・公の施設改革の推進

アセットマネジメント

道路、橋梁、公園などのインフラ資産

- ・「（仮称）道路整備基本計画」に基づく道路の整備 【26年度～】
- ・下水道のアセットマネジメント
- ・社会資本の維持管理における包括契約の導入 等

「公表」「対話」を文化とした行政経営

- ・広報力の強化と広報手段の多様化
- ・アンケート、協議会等による県民意見の分析と反映
- ・パブリックコメントの実施 ・利用者等満足度調査の充実

業務の改善、ワーク・ライフ・バランス

- ・社会保障・税に関わる番号制度導入による行政事務の効率化
【28年1月 番号利用開始、29年7月 情報連携開始】
- ・ワーク・ライフ・バランスの推進

内部統制

- ・行政評価の充実（マネジメントサイクルの推進）
- ・会計事務処理能力の向上 ・監査機能の充実・強化
- ・情報セキュリティ体制の充実・公共事業評価の推進

● 県税徴収の強化・税外収入の確保

- 県税収入未済額削減のため、財産の差押えを積極的に実施
- 税外未収金の債権管理に関する指針の徹底

● 人件費の抑制

- 独自の給与カットの実施（平成15年～）

● 公社・事業団等の改革の推進

- 奈良県林業基金の解散に向けた手続きの遂行
- 公立大学法人奈良県立大学の設立（H27.4.1）
- その他団体の存廃を含めたあり方の見直しの実施

● 連携・協働による地方自治の新しい形“奈良モデル”の推進

- 効率的な行政運営を行うため、①市町村間の連携・協働、②小規模市町村への支援、③県から市町村への権限移譲を軸に、地域に最も適した県と市町村の役割分担の仕組みを検討し、奈良モデルとして、順次、実施。
- 県と市町村が連携した県域水道ファシリティマネジメントの取組が評価され、平成27年度優良地方公営企業総務大臣表彰を受けるなど、「奈良モデル」の取組は、国等からも高く評価。

- I 奈良県の特徴
- II 行財政改革の取組
- III 平成27年度 一般会計予算
- IV 奈良県の財政状況
- V 奈良県の起債運営

奈良県独自の地方創生を目指して

本県が持つ資源をフルに活用するとともに、国の権限、ノウハウ、人材等と全面的に協同しながら、産業やしごとの創出、子育て・女性への支援、健康づくりの推進や教育の振興など、各分野の政策課題に果敢に取り組み、本県独自の地方創生を目指す。

1. 「産業興し」をテーマとして、本県産業の発展やしごと・働く場を創出する取組を協力を推進する。
2. 2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機とする国際観光の振興、文化の発信、国際交流の促進、スポーツの振興、にぎわいの拠点整備に重点的に取り組む。
3. 健康づくり、医療・福祉、こども・女性・学びの支援の各分野の充実を図るとともに、にぎわいのある住みよいまちづくりの一層の推進や防災力の向上を図り、県民の誰もが人生の各ステージにおいていきいきと暮らし、活動できるくらしやすい奈良を創る。
4. 「紀伊半島大水害からの復旧・復興」から「地域の振興」へとステージを移し、南部地域・東部地域のさらなる振興に取り組む。

- 財源として国予算、特に財源措置が有利な平成26年度補正予算を最大限活用することとして、平成27年度当初予算と平成26年度2月補正予算を一体で編成

① 平成27年度 一般会計当初予算額	4,713億円	}	①+②+③ 計 4,915 億円 対前年度比 △ 2億円 (△ 0.0%)
② 平成26年度 一般会計2月補正予算額	80億円		
③ 平成27年度 一般会計6月補正予算額	122億円		

(注) 平成27年度当初予算は、知事選挙の日程の関係から、骨格的な予算として編成

- 県債の発行にあたっては、極力交付税措置のある有利な地方債を活用

県債残高に占める交付税措置額の割合 平成26年度（決算）：62.1% ⇒ 平成27年度（予算）：63.3%

奈良県南部振興基本計画・奈良県東部振興基本計画の概要

目指すべき方向

- ・ 頻繁に訪れてもらう地域になる（交流の促進）
- ・ 住み続けられる地域になる（定住の促進）

計画期間

平成27年度から平成32年度の6年間

南部・東部振興に向けた主な取り組み



訪れてみたくなる地域づくり(交流の促進)

魅力を発見する、創る

- ① 特色ある食と宿泊施設等の整備推進
- ② 美しい景観づくり
- ③ 地域資源を活用した魅力づくり
- ④ 多様なスポーツ施設の整備

知ってもらう

- 情報発信の強化

訪れてもらう、体験してもらう

- ① スポーツイベントの開催
- ② 音楽・芸術イベントの開催
- ③ 地域資源を活用したイベントの開催
- ④ 交通アクセスの支援
- ⑤ おもてなし力の向上
- ⑥ 誘客促進の仕掛けづくり

移り住んで
もらう

住み続けられる地域づくり(定住の促進)

働きやすくする

- ① 農産物等のブランド化・生産拡大の推進
- ② 「A・B・C材全てを出して使う」林業・木材産業の推進
- ③ 漢方のメッカ推進
- ④ 企業誘致の推進
- ⑤ 地域の産業興し

暮らしやすくする

- ① 健康、医療、福祉、介護の充実
- ② 教育の充実
- ③ 子育ての支援
- ④ 買い物等の支援
- ⑤ 移動手段の確保
- ⑥ 文化の振興
- ⑦ 集落の維持・活性化

移り住んで もらう

- ① 二地域居住・移住を受け入れる仕組みづくり
- ② 二地域居住・移住を受け入れる拠点整備
- ③ 移住者の働く場の確保

いざというとき
に備える

- ① 紀伊半島アンカールートの整備
- ② 効率的・効果的な道路防災対策の推進
- ③ 土砂災害対策の推進と山地災害の予防と復旧
- ④ 河道整備
- ⑤ 災害に強い森林づくり
- ⑥ 災害に強い情報ネットワークづくり
- ⑦ 地震に強い地域づくり
- ⑧ エネルギーの確保
- ⑨ 防災力向上と紀伊半島大水害の次世代への継承
- ⑩ 紀伊半島大水害の復旧の完了

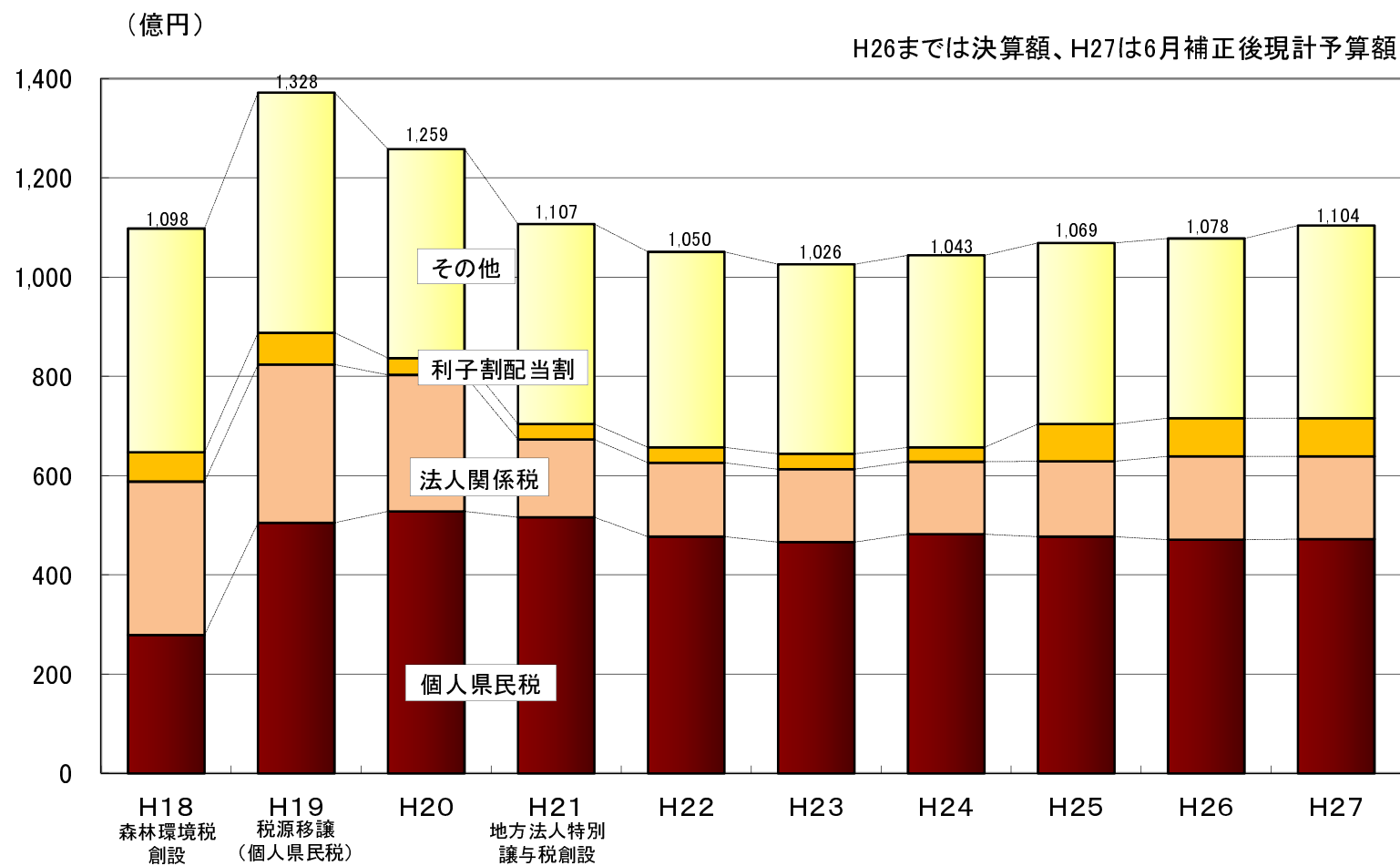
- I 奈良県の特徴
- II 行財政改革の取組
- III 平成27年度 一般会計予算
- IV 奈良県の財政状況**
- V 奈良県の起債運営

IV 奈良県の財政状況

① 決算額の概況

普通会計決算額	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H26-25
歳入決算額 (億円)	4,592	5,007	4,810	4,977	4,662	4,861	4,895	34
県税	1,391	1,242	1,191	1,169	1,176	1,212	1,260	48
地方交付税	1,411	1,315	1,438	1,501	1,501	1,478	1,507	29
臨時財政対策債	228	461	582	435	414	429	388	▲41
行政改革推進債	0	0	0	0	0	0	0	0
県債（臨財債、行革債除く）	344	370	275	268	306	331	296	▲35
歳出決算額 (億円)	4,503	4,936	4,691	4,892	4,599	4,711	4,783	72
義務的経費	2,551	2,493	2,539	2,510	2,513	2,358	2,429	71
投資的経費	740	803	722	680	719	767	735	▲32
実質収支 (億円)	9	23	53	24	5	75	26	▲49
経常収支比率 (%)	96.4	95.6	88.3	91.7	93.3	90.4	92.0	1.6

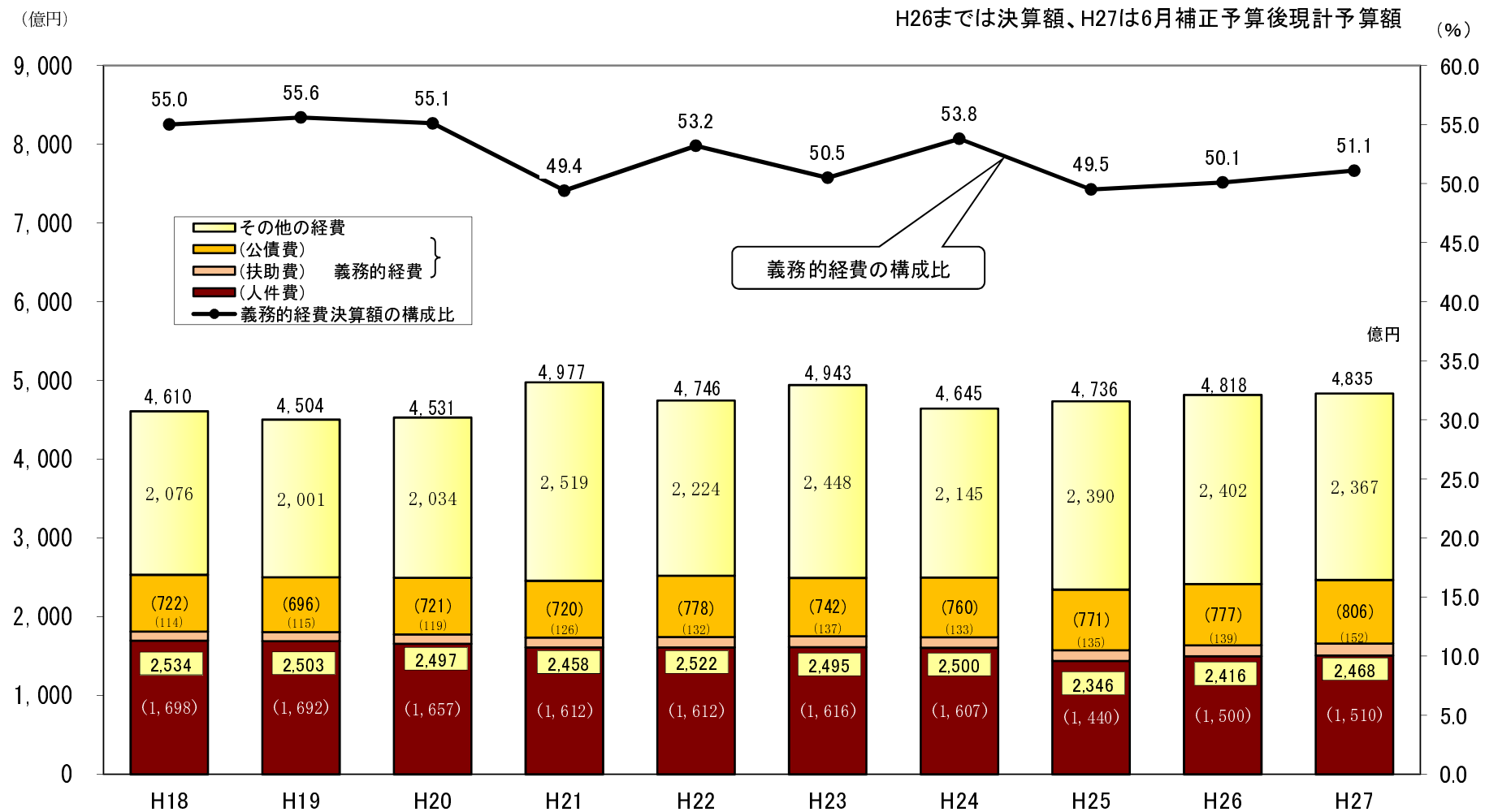
○ 行政改革推進債を発行することなく、財政健全化に向けた取組を強力に推進



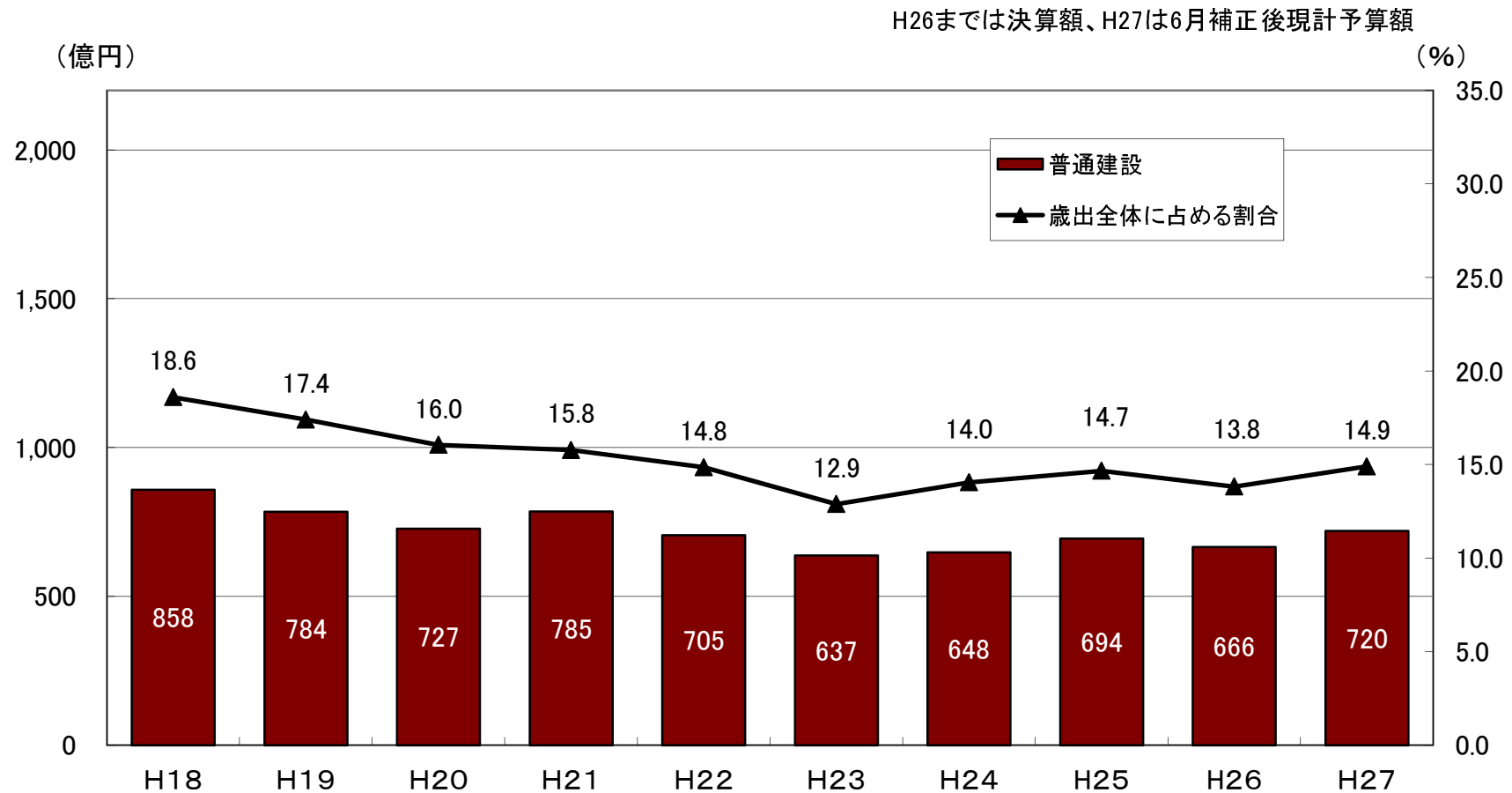
○ 平成26年度は、景気回復に伴う法人2税、配当割県民税の増などにより、県税が約8億円の増収

IV 奈良県の財政状況

③ 義務的経費の推移



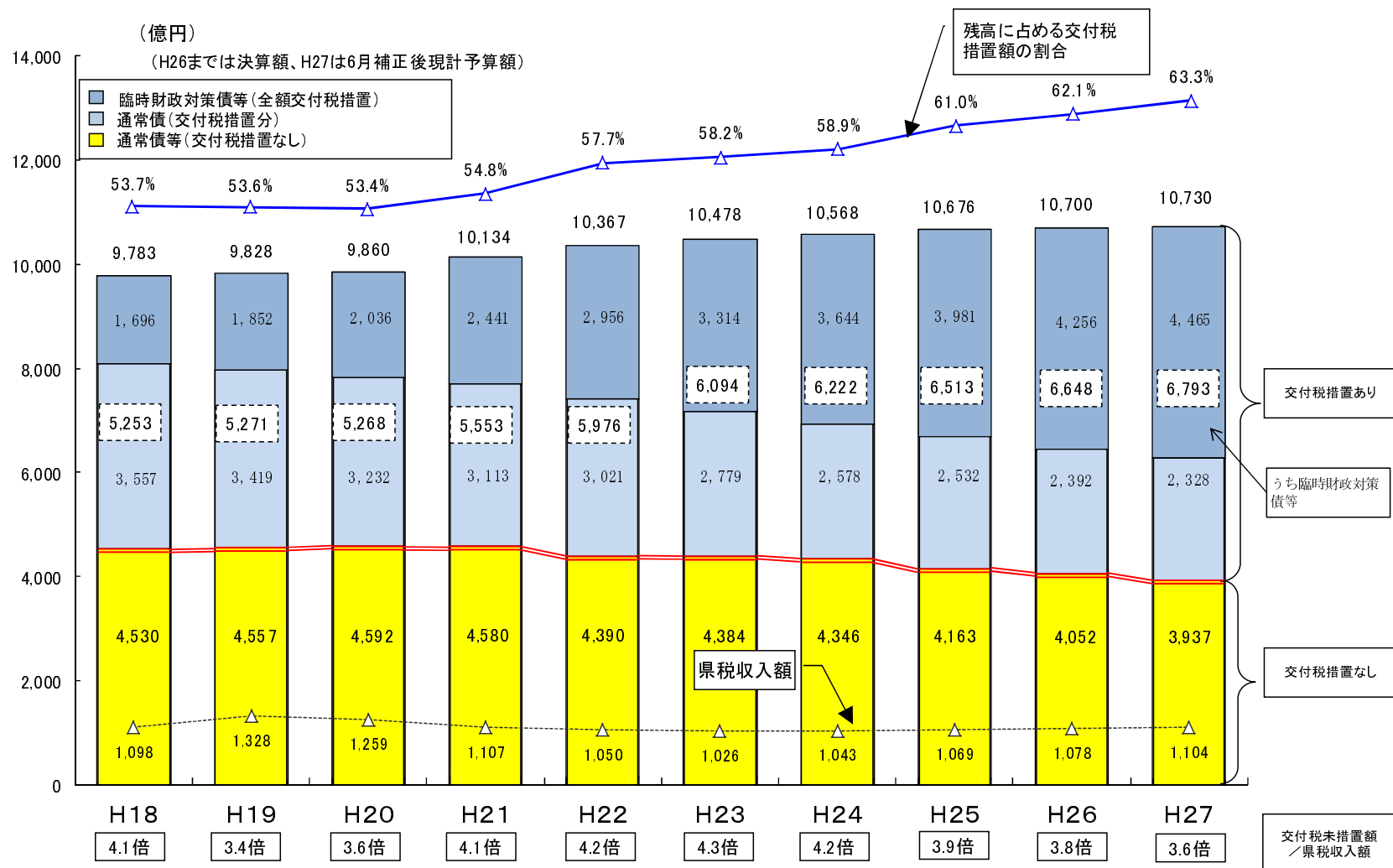
○ 定数削減などの継続実施により、義務的経費の増加を抑制



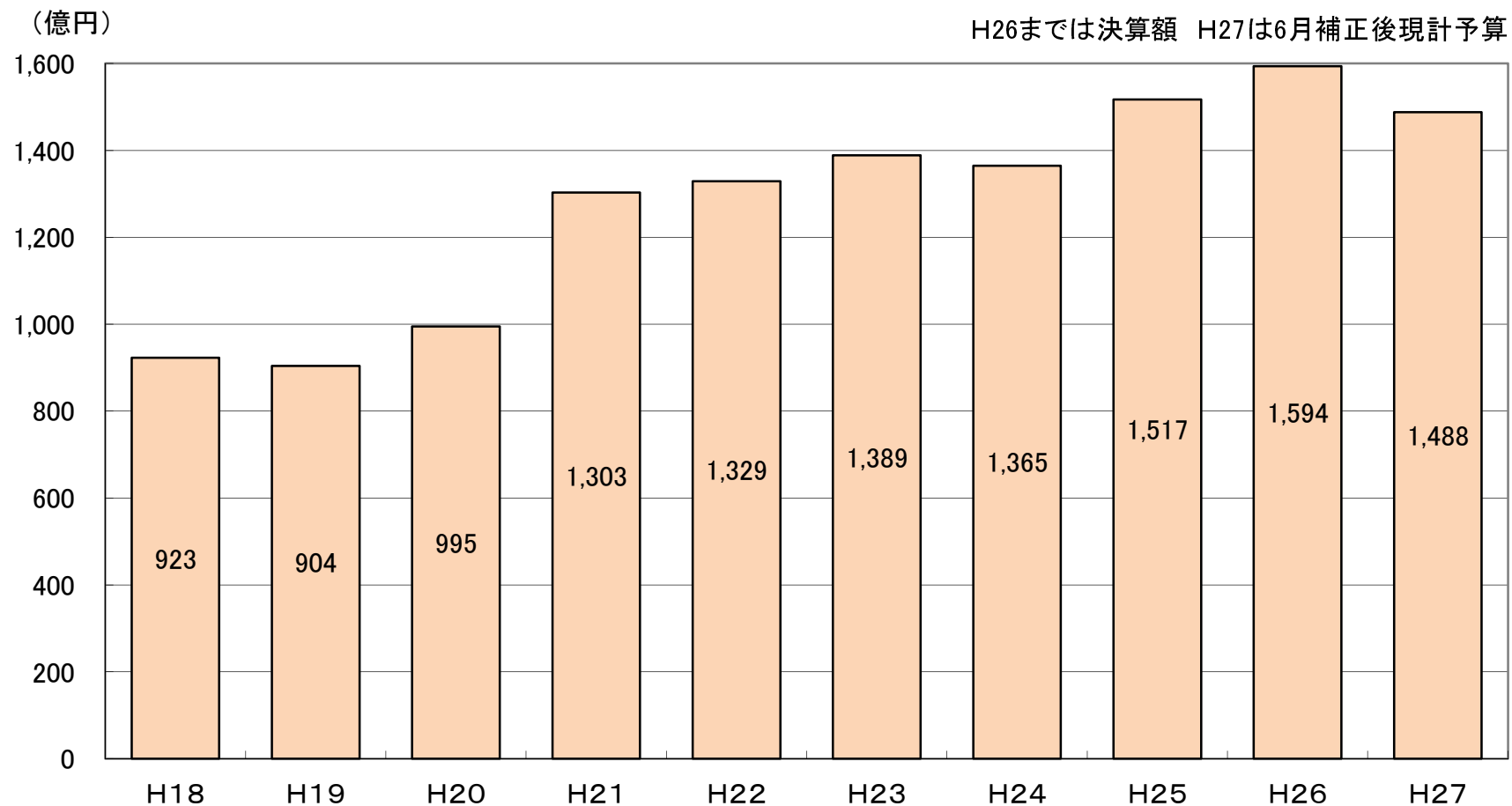
- 平成11年度（1,712億円）以降、平成26年度末で1,046億円の減少（▲61%）
- 国の経済対策と歩調を合わせ、補正予算を最大限活用

IV 奈良県の財政状況

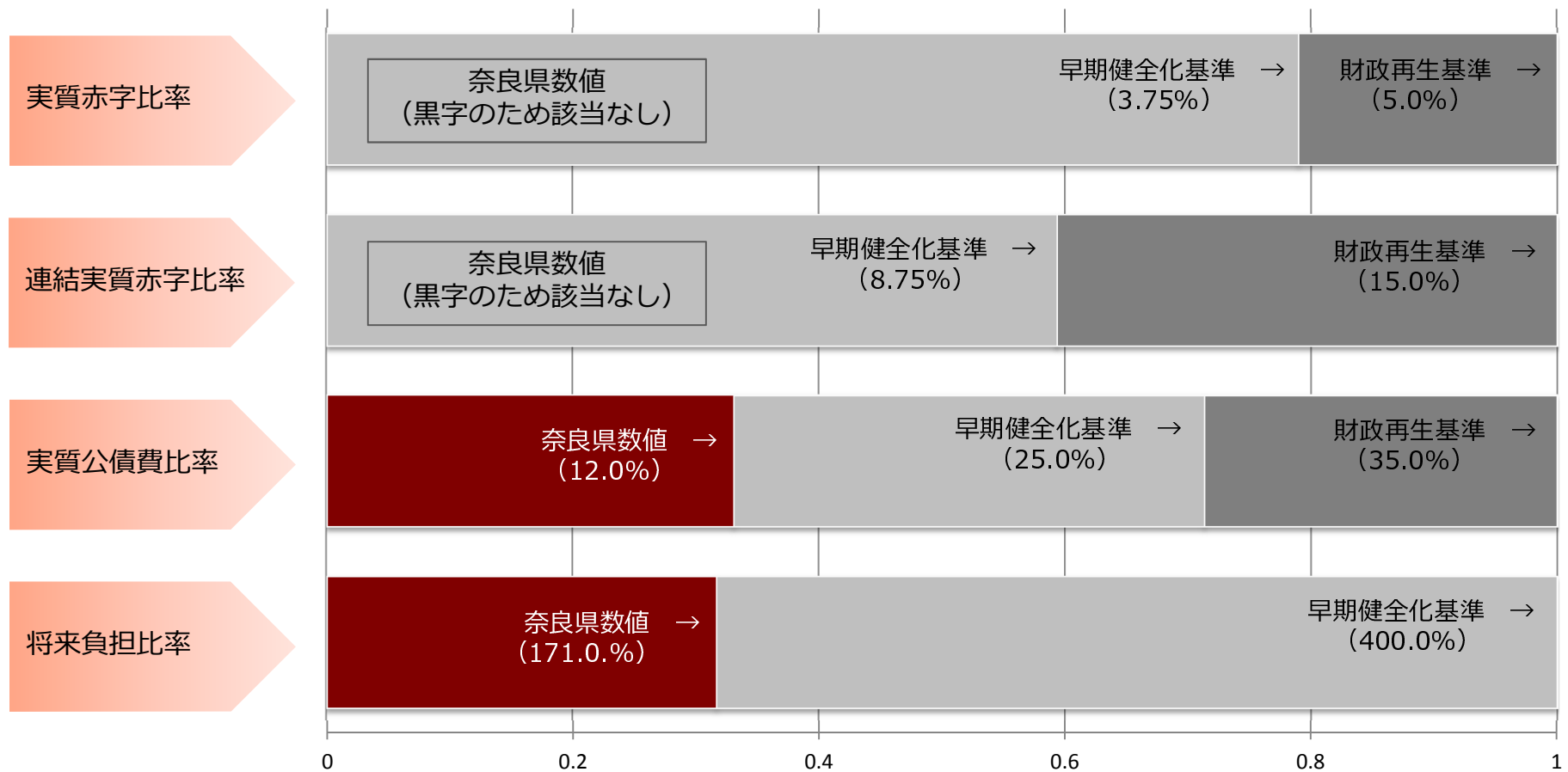
⑤ 県債残高の推移



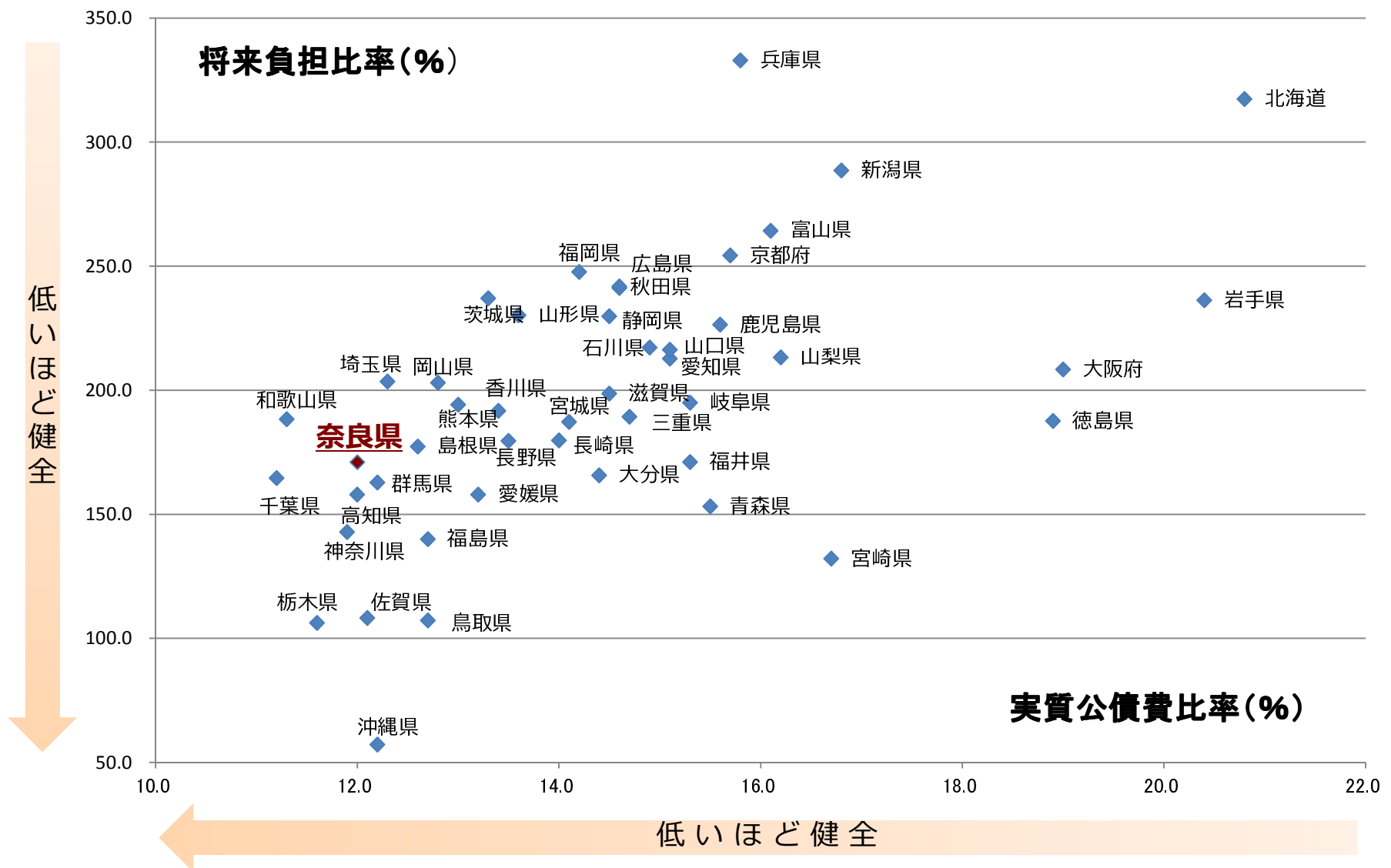
○ 普通建設事業の抑制に伴い、通常の県債残高については、10年連続減少見込み



- 極力、基金に依存しない財政運営を実施
- 平成26年度末における財政調整基金は、225億円の残高を保持
- 市場公募債の償還に備えた積立てについても、確実に実施



- 財政状況を示す健全化判断比率の各指標は、いずれも健全な数値
- 引き続き、徹底した行財政改革により、健全な財政を維持



○ 本県は、東京都を除く46道府県の中でも、比較的上位に位置

(単位：百万円)

事業名	B S			P L			H26年度末 借入金残高	資金不足 比 率 (%)
		H25年度	H26年度		H25年度	H26年度		
水道用水供給事業 (法適用事業)	資産合計	191,433	163,192	総収益	9,537	10,660	43,327	-
	負債合計	8,671	88,575	総費用	8,418	9,534		
	資本合計	182,762	74,617	純利益・損失	1,119	1,126		
病院事業 (法適用事業)	資産合計	20,466	3,715	総収益	22,739	4,961	1,480	-
	負債合計	3,905	3,239	総費用	21,690	4,711		
	資本合計	16,561	476	純利益・損失	1,049	250		

(注1) 病院事業のH25年度は、県立3病院（奈良・三室・五條）。

H26年度は、奈良・三室の独立行政法人化により、県立五條病院のみ数値となっている。

(注2) 負債・資本の構成変動は、地方公営企業会計基準の見直しによる。

- 水道事業については、良好な経営状況
- 病院事業については、経常収支黒字を達成
・ 経営改善方策等を実施したことにより改善

(単位：億円)

平成26年度 (決算)		公社		独立行政法人	
		土地開発公社	道路公社	県立医科大学	県立病院機構
B S	資産の部	74	1,118	274	117
	負債の部	32	750	206	130
	資本の部	42	368	68	△13
P L	経常損益	△1	0	1	△22
	当期損益	△1	0	0	△29

(注) 住宅供給公社は、H26年3月末に解散
H26年度より、独立行政法人県立病院機構を設立（県立2病院が移行）

- 土地開発公社については、保有土地処分により損益赤字発生
- 県立医科大学については、附属病院収益の大幅な増などにより、黒字決算
- 県立病院機構については、独立行政法人化前と比較して医業収益は増加したが、県運営費負担金を前年度に前倒し計上したこと及び独立行政法人化に伴う新規費用が発生したこと等により、損益赤字が発生。
赤字を解消するため、収益改善の方策を検討し、経営改善を図る。

- I 奈良県の特徴
- II 行財政改革の取組
- III 平成27年度 一般会計予算
- IV 奈良県の財政状況
- V 奈良県の起債運営

(株)格付投資情報センター (R & I)

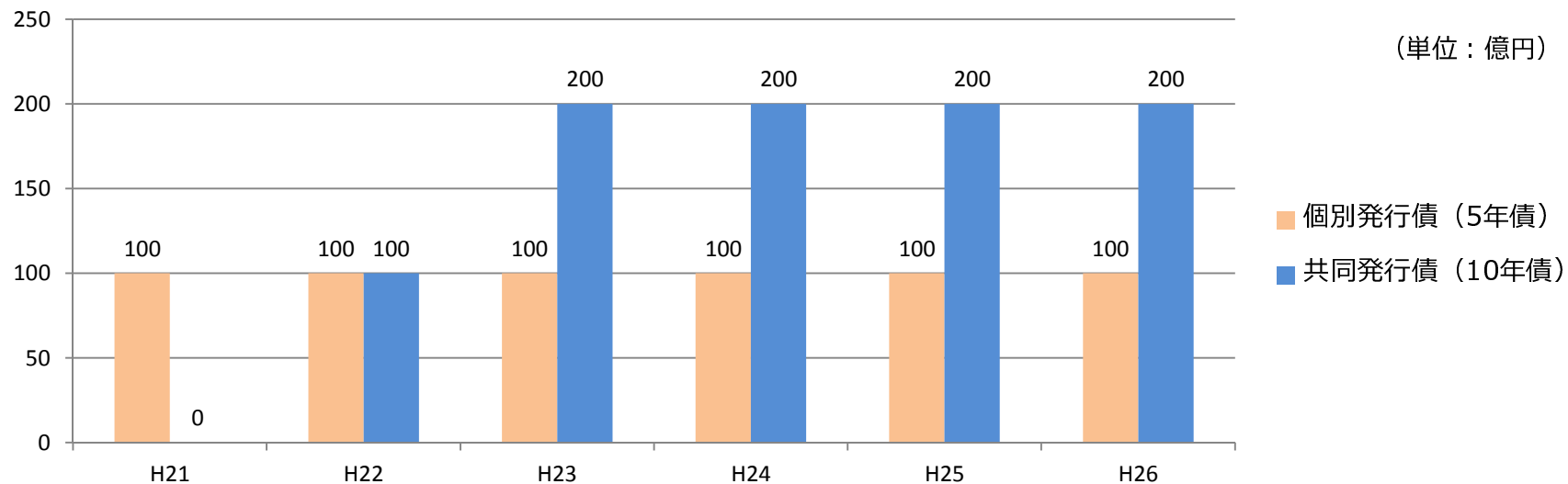
AA
(安定的)

[主な評価内容]

- 周遊・通年型観光地として魅力を高めることで、**経済の底上げが期待できる。**
- 交通インフラの整備が進むにつれて、利便性が高まり、**企業誘致は今後も進む可能性が高い。**
- 「奈良県行政経営マネジメントプログラム」に基づき、PDCAサイクルの実践により、**財政健全化と必要な施策の実現の両立が進むとみている。**
- 通常の限度以上に発行する行政改革推進債の発行実績はなく、一方で、交付税措置のない県債残高は平成21年度以降減少を続けており、**引き続き堅実な行財政運営が続くとみている。**

第三者機関の客観的評価により、財政状況に関する情報をよりの確に提供し、健全な財政規律の維持に努めています。

市場公募債発行額の推移



平成27年度の発行概要

	個別発行債	共同発行債
発行日	平成27年11月30日（月）	平成27年10・11・12月
条件決定日	平成27年11月11日（水）	—
発行額	100億円	200億円（合計）
年限	5年（満期一括償還）	10年（満期一括償還）

本日の説明のポイント

- **奈良県独自の地方創生**
- **行財政改革の取組を着実に推進**
- **健全な財政状況を維持**
- **安定した起債運営を実施**

奈良県総務部財政課

TEL 0742-27-8362

FAX 0742-23-6895

MAIL zaisei@office.pref.nara.lg.jp

WEB <http://www.pref.nara.jp/>

〒630-8501 奈良市登大路町30番地

知れば
知るほど **奈良**
はおもしろい



奈良県マスコットキャラクター

せんとくん

©NARA pref.

<http://www.pref.nara.jp/>